

レクリエーション かながわ

# スコール

(S C O L E)

発行日 平成 4 年 4 月 15 日  
事務局 〒 221  
横浜市神奈川区三ツ沢  
西町 3-1  
神奈川県立スポーツ会館内  
電 話 (045) 320-2430

特 集 会員研修会で企画書具体化  
4 年度県レク事業予定  
事務局日誌特別号

発行・神奈川県レクリエーション連盟／編集・専門(会員)委員会



すころくダービーでズバリノ表彰風景(1992. 1. 19 会員交流会)

## 時 評

指導者資格に  
新しい潮流

副会長 鈴木 司

日レクの指導者養成の潮流の変化が激しい。

八九年、二級指導者養成カリキュラムの大幅改訂の発表、九〇年実施。履修カード等の扱いで現場はその対応にテンヤワンヤ。次いで、余暇相談員・開発士。

そして、昨年十二月に発表された「人材養成マスタープラン」である。

主眼は、レク指導者の国家認定への位置づけ、所謂「社会体育指導者認定」と言われるものである。発表内容では、現在文部省と交渉過程にあるようだが、実現は必至だろう。

”認定事業”が実施されると従来型の養成は打切られる。ただし既得者の資格については移行せず希望する者はそのままよいという考え方がなされているが、国家認定と団体認定では、社会的認識のうえからも、どうしても上昇志向に心は動く。この辺りで現場に混乱が起きなければと、つい取越し苦労に陥るが、リーダーの皆さんは、どのように受け取られるか。

## 第6回 会員研修会

## 5つの企画書が具体化する

第六回会員研修会が、去る二月十五日・十六日と宿泊で、相模原の国民生活センターを会場に行われました。参加者は四十名と前回より少なくなりましたが、盛会裏に終了しました。

初日は、県レク連盟会長の挨拶で始まり、続いて、日本レクリエーション協会イベント開発部副部長の鈴木二三彦先生による「余暇の利用とイベント企画」と題した講演がありました。

今回の研修会は第六回目ですが、会員研修会は、第一回目より「地域でのレク指導者の役割」をテーマに掲げてきました。そして、「私たちができるレクイベントを考えよう」を具体的に参加者で討論してきました。継続して、同じテーマ

で討論してきた訳ですが、今回の研修会では、これらの総まとめとして、具体的な企画書を作成してみようと計画しました。

講演では、まず、レク行事の意義が話されました。次に、企画とは、「思いやアイデアを具現化すること」と説明され、企画の手順として次のような点が挙げられました。

## 企画の手順

- ① テーマを決める
- ② 現状(対象やニーズ)を知る
- ③ アイデアを出す
- ④ 条件の整理をする
- ⑤ 目的、予算、場所、参加者、日程、スタッフ等を検討し、問題点をはつきりさせる。
- ⑥ 条件とアイデアを組み合わせる
- ⑦ 出たアイデアと検討した各種条件を上手に組み合わせ、採用できるものを選択する。
- ⑧ プログラムを作る
- ⑨ 起承転結を考えながら、内容を検討する。また、時間に沿って内容を詳しく書いた進行表を作っておくことも大切である。
- ⑩ 全体のタイムスケジュールを立てる

ベント実施、評価反省までのイベント全体のタイムスケジュールを作る。

## ⑧ PRを考える

- PRの基本は、
- ・実施内容を知らせる
- ・興味を起こさせる
- ・参加したいと思わせる

## ⑨ 企画書を作る

鈴木先生の講演は、具体的な事例が盛り沢山で大変わかりやすく、参加者にも大変好評でした。また、この講演は、講演の後行った演習「企画書を作ろう」の効果的な導入ともなりました。

演習は、五つのグループに分かれて行いました。前回の第五回研修会で作成したプログラムも参考にしながら、鈴木先生のお話を基に「私たちにできるイベントを企

画しよう」をテーマに企画書案の検討にかかりました。交流を兼ねた夕食後も、さっそく具体的な話合いを行いました。どのグループも大変熱心に、夜遅くまで討論を重ねました。

二日目の午前中は、昨日話し合った内容を、企画書に書き上げました。参加者は地域で活躍している指導者ばかりですので、いろいろな具体案が数多く出てきて、まとめるのに一苦労したグループ、昼食ぎりぎりまで検討していたグループなどさまざまでした。

昼食後の情報タイムでは、県レク篠崎理事長から、平成四年度の県レク事業の情報、湯河原町、相模原市、愛川町の会員から地域レク情報の提供がありました。

続いて、恒例の実技研修を行いました。今回は「ニュースポーツ体験」と題して、グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフ、ペタンクを体験しました。指導は、県レク連盟加盟の各協会にお願いをしました。天候もよく、それぞれ楽しくニュースポーツを体験できました。

最後にグループで作った企画書を発表しました。すぐにでも実践してみたいようなプログラムが登場しました。(詳細は次号へ掲載)



# 年々盛り上がる交流の輪 熱気満載の質詞交歓会開かれる

恒例の質詞交歓会(第三回会員交流会)が、1月19日(日)横浜華正楼本店において、参加者45人を集め、盛大に開催されました

今年、来賓として神奈川県教育庁スポーツ課の玉橋専任主幹と日本レクリエーション協会浮田教育センター部長が、大変お忙しい中、ご出席していただいたおかげで、つどいも一層盛り上がることでできました。

余興の宴会ゲーム「すごろくダービー」では、優勝馬を当てた人に素晴らしい賞品が出され、前回までは遠慮がちで、リクエストを募るのが大変だった「カラオケ大

会」では、希望者が多く、全員の方に順番が回らなかった程です。また、「おどるボンポコリン」の歌では、突如正体不明のピエロが乱入(?)し、参加者を唖然とさせました。来年も、より多くの方と(一度も出席しない方は、是非是非)交流を深めたいと思います。仲良く3回連続出席の神奈川県区の細田ご夫妻、来年もお元気で会いしましょう。

## 平成4年度 県レク事業予定

県レクの今年度の事業予定が決まりました。皆さんの予定に入れておいて下さい。

○県レクフェスティバル

◆六月二十八日(日)

- (会場) 県立体育センター
- (種目) 民踊・フォークダンス・硬式テニス・ターゲットボード
- ゴルフ・ゲートボール・グラウンドゴルフ・ペタンク・ウォークラリー・ラジオ体操など予定。

◆七月五日(日)

- (会場) 県立体育センター
- (種目) レク卓球・インディアアカ・チャレンジザゲーム予定

○レクスクール

- 五月 九日(出) 概論1・ゲーム
- 五月三十日(出) 概論2・ソング
- 六月 六日(出) 概論3・ダンス
- 六月十七日(出) 概論4・ゲーム
- 七月 四日(出) 概論5・ソング
- 七月十八日(出) 概論6・ダンス
- 九月 五日(出) 概論7・GSD
- 九月十九日(出) 概論8・GSD

- 十月 三日(出) 概論9・ポストリ
  - 十月十七日(出) 概論10・マジック
  - 十一月七日(出) 概論11・マジック
  - 十一月十四日(出) 概論12・クラフト
  - 十二月五日(出) 概論13・クラフト
  - 一月十三日(出) 概論14・GSD
  - 二月 六日(出) 概論15・演劇活動
  - 二月二十日(出) 実技・演劇活動
  - 三月 六日(出) 総合演習
- 機関紙「スコーレ」発行  
(平成四年)

## おじやまします

(神奈川県ターゲットボードゴルフ協会)

平成元年五月協会として設立。レクリエーション連盟に種目団体として加盟した、ターゲットボードゴルフ協会です。

合成樹脂の羽根つきボールをゴルフクラブで打つ、狭いところでもスイング出来る爽快感があり、愛好者も急増しています。現在、普及中で定期的に県内各地域で競技会、また、指導員認定講習会、なお各地域からの依頼を受け指導をしています。

平成四年度から県立体育センターで、原則として第



大会にも、毎年選手を派遣しています。一緒にたのしんでみませんか。(連絡先) 〒228 座間市新田宿 一九九 波多野良子 (電話) ○四六一一51一三七三七

- 六月十五日13号 十月十五日14号
- 一月一日15号 四月十五日16号
- 会員研修会
- 第七回会員研修会(日帰り)
- 十月十八日(日) 海老名予定
- 第八回会員研修会(宿泊)
- 二月二十七日(出)～二十八日(日) 江の島会場予定
- 会員交流のつどい
- 平成五年一月十七日(日)会場未定

## 事務局だより

日本レクリエーション協会  
情報より

人材養成マスタープランに

関しての第二報

○人材（指導者）養成は、現カリキュラムによる2級養成が土台となる。名称は「レク・ワーカー」に変わる予定。

○上位の一級・上級は専門化された機能別・領域別の指導者になる。移行にあたっては、現在の指導者に不利益が生じないように配慮していく。

○文部省認定の新しい資格の指導者の養成は、レクリエーション科目も社会体育専門科目も、もっぱら日本レクリエーション協会が行う。

四年度会員登録料は  
もうお納めですか

三月末、四年度県レク会員登録料納入についてをお願いをしましたが、もう振り込みを済ませたでしょうか。お支払いいただけませんと六月十五日発行のスコーレを最後に登録が抹消されてしまいました。急ぎ、お納めください。

## 県内ネットワーク

○ターゲットボードゴルフ協会

・毎月第二日曜日（除八・十月）県立スポーツセンターふれあい

スポーツ事業協賛定例競技会  
会場・県立スポーツセンター

・五月三十一日（日）普及競技会  
会場・厚木市愛甲小学校

・六月二十八日（日）普及競技会  
県レクフェスティバル事業  
会場・県立スポーツセンター

問い合わせ先  
事務局 0462-51-51-3737 波多野

○ベタンク協会  
四月十九日（日）指導者講習会  
会場・横浜市港南区港南台第二

グラウンド・教室  
参加費二千五百円（他二千元）

・六月七日（日）指導者講習会  
会場・座間市立座間小学校  
参加費三千元（他二千元）

問い合わせ先  
事務局 045-832-4338 藤野

○レク・リーダー講習会  
四月十六日～五月二十一日木曜日五回  
七月十九日（日）・八月九日（日）二回  
会場・逗子青少年会館  
問い合わせ先  
逗子青少年会館

※情報をお寄せください。

## 事務局日誌特別号

平成三～四年度の二年間にわたって、県レク事務局を担当、事務所の移転と事務機能の整備という大仕事をしていただいた飛矢崎美利氏が退任されます。ありがとうございます。

## 鏡と自分

多くの人は年齢を重ねても、気持ちの上では自分は若いと思っている傾向があると思います。

私も或る時、ふと鏡を見て、小じわどころか、首筋の太いしわに愕然としたことがあります。このように、自分のことは自分では、

気付かないことが多いと思います。皆さんは、レク指導者ですから経験があると思いますが、一生懸命

講義をしているのに、相手はうつら、うつらしていたり、実技の指導をしても相手は、乗ってこなかったりの経験があると思います。

自分が一生懸命指導しようとする

ことが先に出て、相手の状況や、

気持ちを汲み取る余裕がないことがあります。このことは指導者が

落ち入りやすい、落とし穴とも言えます。

自分の顔色が鏡と言う、対象によって、わかるように、指導者は

受講者の実態、状況や、気持ちを汲み取る力が要求されます。

このように対応することは、思

いやりの心に通じます。どのような手法で、どんな資料で指導したら受講者が喜んでくれるだろうか。……と研究することによって、指導力が高まり、信頼されるリーダーになるのではないのでしょうか。二年間のご協力とお世話になりましたことに感謝いたします。

飛矢崎 美利

## 編集後記

めまぐるしく、変化しているレクの世界でスコーレが登録会員への情報源として、機能しているのか、又会員研修会、交歓会等では人と人との熱いふれあい伝っているかと、熱心に討議されて、新米委員も緊張の輪の中へ引き込まれてしまう編集会議です。

地域の情報やホットなニュースを寄せて頂き、会員に密着したスコーレを目ざしています。ぜひ皆様からの原稿をお待ちしています。新芽が若葉となり輝くように四年目へ向けて新たな気持ちで発行を続けます。

(K)